



ロータリー：
変化をもたらす

週報

入間ロータリークラブ



Rotary
第 2570 地区



2017-2018 年度 RI 会長:イアン ライズリー RI2570 地区ガバナー: 細井保雄 会長:関谷永久 幹事:宮崎正文

第 45 号 3026 回例会 2018 年 6 月 14 日 (木)

『ロータリーっていいですね!』

<会長の時間>

関谷永久会長



私達経営者或いは専門職業人にとってはその世界は結果が全てで、結果が出なければどんな努力も意味が成さなくなってしまう

ます。人は物事の判断をしたり、実行する時に、特に窮地に追い込まれて居る時など「死ぬ気でやる」と決めて仕事に全身全霊を注いだ結果、ブレイクスルー Breakthrough、つまり自分の限界を超えた結果を得る事があります。このブレイクスルー思考とは「目の前に待ち構える障害を「想定内の苦難」と考えることで、一見芳しくない状況を突破していく方法、即ち難関突破を意味する考え方であります。

「死ぬ気でやる、死ぬ気でやれ」とは当人はその時は生きた心地がせず、ずっと震えが止まらず、そして恐怖で体が震えるぐらい徹底的に自分を追い詰めて行く事であると言えます。私達は容易にこの言葉を発しますがここまで考察しているのでしょうか。私達は問題の壁に当たった時などは同じ失敗は出来ませんが、幾度となく失敗を繰り返します、そんな苦い経験の時でも頭の中で都合よく変換し、自分の勝ちだと思いつく事で心をコントロール出来ます。

『失敗しても何か得られるものはある、良かった事だけを記憶しておけば良く、結果はどうであれ良い経験だったとポジティブな自己暗示を掛ければいいんです』失敗を克服するためにそう考えています。ロボ

ット研究者で大阪大学教授の石黒浩氏はバイクでケガして生死をさ迷った経験などから克服論をこう述べています。そして又漱石やマツコ・デラックスやさらには自分までのアンドロイドを創って世界を驚かせた石黒氏のロボット研究は『人間の本质を知りたい』ことの欲求で始めたとの事です。人の生きるモチベーションは詰まるどころ「人を知りたい、自分を知りたい」以外にないです、大切なのは物事を深く考える力、これこそ人間と機械の大きな違いです。これが衰えてしまったら AI やロボットと同じようになってしまいます。しかし研究の先に見据えるのは「ロボットが人間の生き方に付いて教えてくれる社会」としています。

何時になっても私達は深く人の本質を考え人間同士の思い遣りの上に社会が成り立っていかねばならないと思います。私はこれこそロータリアンの奉仕活動の極致であると思います。

<幹事報告>

宮崎正文幹事

<報告・予定等>

- ・6/14(木)
第3グループ新旧会長
幹事会
- ・6/17(日)
年度末地区役員合同会議

<RC 以外>

- ・6/10(日)第24回わんぱく相撲入間大会
- ・6/13(水)豊岡中学校区青少年健全育成
推進会定期総会



■ クラブ奉仕委員会 滝沢文夫委員長



1年間クラブ奉仕委員長を務めさせていただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。しかしながら、果たして私は何をやっていたのでしょ

うでしょうか？先週の各委員会の委員長報告では、各委員長はしっかりと活動をして、そしてしっかりと報告されていま

した。クラブ奉仕委員長としては大変うれしく思いました。クラブ奉仕の中には10の小委員会があるのは皆さんご存知の通りですが、それぞれの委員長さんからは、特別何も相談されることもなく物事は大変スムーズに進行されてい

ました。もっとも、職業分類、会員選考、会員増強、ロータリー情報は会長エレクトの担当ですから、うまくいって当たり前とは思

います。少し変わったところでは、クラブ奉仕委員長が、クラブ奉仕の中の親睦活動委員会の委員となっていたところ

です。当初、関谷会長にこれはいかなものかと問い合わせましたが、会長からぜひこの委員会の委員として活動する

ようにと言われ、委員になりました。しかしながらこのおかげで数多くの家庭集会等に参加することは

■ 職業奉仕委員会 岩崎茂委員長



今年度の職業奉仕委員会は、ロータリー奉仕活動の原点である「真の職業奉仕」をもう一度見つめなおすために、年度計画書のなかに下記の2つを明記し、これに取組

1. 経営理念を学ぶ

例会に招いた河野武彦氏（株山香煎餅本舗・創業者会長）の卓話から「企業の持続発展に不可欠な経営理念」この重要性を学びこれをもとに当クラブメンバー各社の理念の設定の有無の調査を実施しました。これにより回答のあった20社の経営理念を一覧表にまとめ、これをもとに5月17日の例会にて「経営理念を学ぶ」をテーマに4グループに分かれてディスカッションを行いました。

活発な意見交換の中から、企業の持続発展のためには経営理念は不可欠であることの認識を強くしました。

なお経営理念の有用性からこれを機会に未設定の各企業には、その動機づけの一助となればと願っています。

2. 企業訪問の実施（株安川電機様入間事業所の見学 実施日 29.11.30

世界の産業ロボット業界のトップ企業（株安川電機様）の工場見学をとおして、日本の先端技術を投入した最新工場をつぶさに視察しました。その後ミーテイングルームに移動して、同社の現在の世界戦略についての説明を受け、現在進出中の中国市場への輸出の伸びによって、5年後には今期の業績を倍増させる計画です。との説明を聞き参加メンバーにとって大いに感銘を受けた有意義な見学会でありました。

■国際奉仕委員会



繁田光委員長

国際奉仕委員会は、国際奉仕を実践し、交流することで国際間の理解、親善、平和を推進するという方針で、1年間活動してまいりました。

活動計画の1番に掲げた、グローバル補助金の活用を検討は、実行委員会を設けて長期の視点で推進しております。2番の国内外のクラブと、姉妹、友好クラブの関係の検討は、残念ながら次年度以降引き続き努力します。3番の他の委員会との協力及び支援ですが、うまくできなかつたです。1年間、ありがとうございました。

■青少年奉仕委員会 晝間和弘委員長



活動方針は次世代を担う青少年の為に各部門と共に青少年育成を積極的に応援します。

活動計画に掲げたインターアクト年次大会、ライラデー

に参加出来ませんでした。

青少年奉仕月間では5月10日に第2570地区青少年奉仕部門アクト委員長・川越RC坂口孝様にインターアクト・ローターアクト関係の卓話をして頂きました。

反省点は私個人で毎年主催してる音楽イベントを行政に声を掛けて市内全体の音楽イベントを開催出来れば良かったかな?と思いました。一年間ありがとうございました。

●委員長報告

<親睦活動委員会> 木下登委員長

6月28最終例会が「うかい鳥山」で行われます。是非とも大勢の方の参加をお待ちしています。出席の連絡を18日迄に事務局にお願い致します。

又、最後の親睦活動委員会の家庭集会を21日に和食よへいにて行いますので、関係者の出席宜しくお願い致します。

<米山記念奨学委員会> 一柳達朗委員長

6月10日に米山記念奨学学友総会に出席して来ました。12名の新しい奨学生が入られ(男性6名)、3名が2年目となり全員では15名です。来年度も李さんのカウンセラーを引き続き頑張つて参ります。

<出席報告> 金井祐一委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44名	28名	68.29%	67.50%

事前欠席連絡5名

<ニコニコBOX> 木下登副SAA

★今週12日に銀婚式を迎えました。皇太子と同じで年齢も一緒です。あつという間の25年でしたがこれからも色々頑張りますので宜しくお願い致します。

「宮崎正文君」

★早退いたします。「関根靖郎君」

■回覧、配布物

- ① ハイライトよねやま Vol. 219
- ② 第24回わんぱく相撲入間大会のご報告とお礼
- ③ 関谷年度最終例会出欠表
- ④ 入間社会福祉協議会協賛お知らせ
- ⑤ 他クラブ週報
- ⑥ クラブ週報44号



発行 入間ロータークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7ハイツ斎竹 101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員：吉沢誠十 吉永章子 繁田光 間野尚 佐藤輝武

